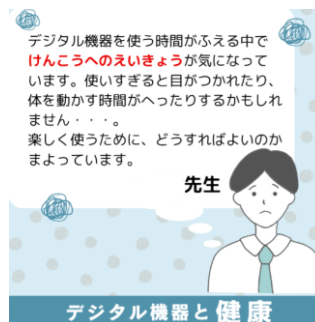


6年 「デジタル機器と私たち」～「習得」編～

まず初めに、「デジタル機器の使い方に関する先生の困りごと」に対して自分たちが提案をする」という単元全体の大きな流れを理解しました。その上で自分が提案を行うテーマを決定！テーマを選ぶ際には、自分がこれまでに体験したことや、先生方の話を聞いて共感したことをもとに決定しました。テーマが決まった後は、その課題に対する自分なりのはじめの提案を書きました。



原因 ～が起きている。～だからだ。～によって～となった。
原因として考えられるのは～

調べるときに使ったもの（本・ネット）
本（サイト）の名前
書いた人（著者）
書いていたページ ページ

結果 ～が起った。～ようすが見られた。～ようになった。

調べるときに使ったもの（本・ネット）
本（サイト）の名前
書いた人（著者）
書いていたページ ページ

次の時間には、前時に書いた提案をもとに学習を進めました。「この提案には説得力があるだろうか？」と問いかけたところ、これまでの学習の経験から「説得力を高めるには事実が必要だ」という意見が出されました。そこで、ミニワークを通して「説得力のある事実」にするためには、事実の“結果（影響）”とその“原因”を明確にすることが大切であることを確認しました。そのうえで、自分のテーマについて情報を集めました。情報収集では、「原因—結果」の関係に注意しながら整理を行い、インターネットや本を活用して必要な情報を集めました。さらに、情報の信頼性を確保するために出典を明記し、どこから得た情報なのかをはっきりさせることにも取り組みました。

さらに、集めた情報を同じテーマを選んだ仲間と共有しました。情報を共有することで、多くの視点や資料の中から、より説得力のある事実を選び出すことができました。共有の良さを実感しながら学習を進めることができました。また、共有の際には「同心円チャート」を活用し、情報と情報のつながりを視覚的にわかりやすく整理・分類することで、考えの構造がよりはっきりと見えるようになりました。

